

# UM工程進捗

## リリースノート

2211E

発行日	2022/12/12
最終改訂日	2022/12/20

株式会社シナプスイノベーション

© Synapse Innovation Inc.

Confidential

# 目次

目次	1
改訂履歴	2
1. 概要	3
2. 詳細	4
2.1. OCR実績入力機能の追加	4
2.2. 在庫推移照会 過去日からの検索	4
2.3. 子品目のQC工程表の表示と編集	4
2.4. 不具合修正	4
3. アップグレード手順	6
4. UM工程進捗用設定	9
4.1. UM共通設定	9

## 改訂履歴

改訂日	Ver.	改訂内容
2022/12/12	1.63.1	発行
2022/12/20	1.63.2	不具合修正に3件追加

- 本書の一部または全部を無断で複製・転載することはお断りします。
- 本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。
- 本製品をご利用いただいた結果の影響につきましては上項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。

## 1. 概要

本リリースにおいて、下記の変更を実施いたしました。

- OCR実績入力機能の追加
- 在庫推移照会 過去日からの検索
- 子品目のQC工程表の表示と編集
- 不具合修正

各変更内容につきましては、次ページ [ 詳細 ] よりご確認ください。

アップグレード後の

各変更による設定の追加等につきましては、[ UM工程進捗用設定 ]よりご確認ください。

## 2. 詳細

### 2.1. OCR実績入力機能の追加

OCR実績入力画面にて、工程別作業指示書を利用した各種実績の登録ができるようになりました。機能の詳細、作業指示書の読込方法につきましては「UM工程進捗:ユーザーガイド」の「工程別作業指示書からOCR機能を使って実績を登録する」をご覧ください。

### 2.2. 在庫推移照会 過去日からの検索

在庫推移照会画面にて、過去日付の受入予定/払出予定残数の照会が可能になりました。検索条件の期間(自)項目に設定した日付から前日の受入/払出残の合計を実績残合計列に表示します。

### 2.3. 子品目のQC工程表の表示と編集

部品表画面から利用できるQC工程表にて、自品目だけでなく子品目のQC工程表の表示・編集が可能になりました。

QC工程表を展開していくことで、子品目以降のQC工程表を順次表示します。

### 2.4. 不具合修正

下記機能で不具合修正を実施いたしました。

- 部品表  
「構成明細のコピー」を実行したとき、コピー元は画面に表示中の構成ヘッダにすべきところデフォルト構成ヘッダにコピーされていました。
- 部品表  
品目マスタの検索で「「〇〇」のすべての結果を表示」が表示されていませんでした。
- 在庫推移照会  
製造オーダーのステータスが「製造完了」、「オーダーキャンセル」、「オーダー中断」しているデータが受入数に含まれていました。
- 所要量計算  
共通する中間品をもつ部品表に対して所要量計算を実行するとアプリケーションエラーが発生しました。

- 作業オーダー  
1つの製造オーダーに対して作業オーダーが複数あり、1つの作業オーダーの納期を編集したとき、他の作業オーダーの納期も同日に更新されてしまいました。
- 在庫移管  
ロット選択では完成品(工程順序999)の在庫を指定しているが画面復帰時には工程仕掛品(工程順序!=999)の在庫が指定されてしまっていました。画面復帰時も完成品(工程順序999)の在庫を指定する様に修正しました。

### 3. アップグレード手順

パッケージURL:

- ①Schema
- ②Label
- ③Utility
- ④Domain
- ⑤Service

①～⑤のパッケージURLは「UM共通 リリースノート」に記載しています。

⑥工程進捗 ver.1.63.2

<https://login.salesforce.com/packaging/installPackage.apexp?p0=04t2x000004NyGZAA0>

<手順>

- 1) **本番へのアップグレード前には必ずSandboxにて検証ください。**  
上記URLのloginをtestに置換してアップグレードください。  
例) <https://test.salesforce.com/packaging/installPackage.apexp?p0=パッケージID>
- 2) ①Schema～⑤Serviceのアップグレードを実施します。  
パッケージURLは「UM共通 リリースノート」に記載しています。  
「UM共通 リリースノート」を参考に、①Schema～⑤ServiceのURLの実行を行ってください。  
※必ずパッケージURL⑥の前に行ってください。
- 3) 上記パッケージURL⑥にアクセスします。
- 4) ログイン画面が表示されます。アップグレードする環境のユーザでログインしてください。



- 5) アップグレード実行画面が表示されます。  
※アップグレード実行前に、今回アップグレードを行うバージョンになっているか、必ずバージョン名を確認してください。

<実行手順>

- a) 「管理者のみのインストール」をクリックします。
- b) 下図のように「同意」チェックボックスがある場合は、ONにします。
- c) 「アップグレード」ボタンをクリックします。



アップグレード完了後、画面に「アップグレードが完了しました」のメッセージが表示されます。「完了」ボタンをクリックします。

下図のような画面が表示された場合は、完了メールを確認後に「完了」ボタンをクリックします。



- 6) 「インストール済みパッケージ」画面が表示されます。  
インストールしたパッケージ名のバージョン番号を確認してください。  
アップグレードを行ったバージョンになっていればアップグレード完了です。

設定
ホーム
オブジェクトマネージャ

インストール

アプリケーション

パッケージ

インストール済みパッケージ

機能設定

分析

Analytics

自動インストールアプリケーション

探しているものが見つかりませんか?  
グローバル検索をお試しください。

設定

**インストール済みパッケージ**

**インストール済みパッケージ**

AppExchange ページでは、開発済みのアプリケーションやコネクタを参照したり、トライアルをしたり、ダウンロードして、お客様の salesforce.com 環境に直接インストールしたりすることができます。パッケージのインストールの詳細はこちらをご覧ください。

アプリケーションやコネクタは、パッケージのインストールとともにインストールされます。インストール直後は、すべてのカスタムアプリケーション、タブ、およびカスタムオブジェクトに「開発中」のマークが付いており、組織内のユーザーは利用できません。このため、アプリケーションをテストおよびカスタマイズしてからリリースできます。コネクタは、「リリース」をクリックして、他の設定情報を使用して権限にリリースした後、グループ単位でリリースすることができます。

インストール済みパッケージの横にあるリンクにより、このページから別のアクションを実行できます。

パッケージを削除するには、【アンインストール】をクリックします。パッケージのライセンスを管理するには、【ライセンスの管理】をクリックします。

アクション	パッケージ名	公開者	バージョン番号	名前空間プレフィックス	インストール日	制限	アプリケーション	タブ	オブジェクト	AppExchange 準備完了	
アンインストール	snps_um_label	Synapse Innovation Inc.	1.3	snps_um	2022/08/08 18:52	✓	0	0	0	不合格	
アンインストール	UMP/production/face-assembly	Synapse Innovation Inc.	1.1.3	snps_um	2022/08/08 19:06	✓	2	2	0	合格	
アンインストール	snps_um_coremail	Synapse Innovation Inc.	1.14.1	snps_um	2022/08/08 18:56	✓	0	5	1	不合格	
アンインストール	snps_um_schema	Synapse Innovation Inc.	1.15	snps_um	2022/08/08 18:46	✓	0	73	129	不合格	
	説明 0R2X0000HCCR7AAK										
アンインストール	snps_um_service	Synapse Innovation Inc.	1.2	snps_um	2022/08/08 18:57	✓	0	0	0	不合格	
アンインストール	snps_um_utility	Synapse Innovation Inc.	1.6	snps_um	2022/08/08 18:53	✓	0	0	0	合格	

**アンインストールされたパッケージ**

アンインストールされたパッケージのデータのアーカイブはありません。

## 4. UM工程進捗用設定

UM工程進捗の変更内容をご利用のために、一部設定をしていただく必要があります。  
ご利用環境のverや設定状況によっては設定不要の内容もございます。あらかじめご了承ください。

### 4.1. UM共通設定

UM共通リリースノートにも同様に設定の記載があります。  
下記資料の設定内容を参考に、設定を行ってください。  
「UM共通リリースノート 2211E」